

2017年3月期 第1四半期決算

# 説明資料

株式会社 **トクヤマ**

2016年7月29日



# CONTENTS

- 1 2017年3月期 第1四半期決算
- 2 2017年3月期 業績予想
- 3 トピックス
- 4 補足資料

# ① 2017年3月期 第1四半期決算

1. 決算概要
2. セグメント別売上高  
／営業利益
3. 営業利益増減分析

# 1. 決算概要

## 連 結（前年同期比）

（億円未満切捨て）  
（億円）

	2016年 3月期 第1四半期	2017年 3月期 第1四半期	増 減	
			金額	%
売上高	737	731	△5	△1
営業利益	29	95	+65	+224
経常利益	14	64	+49	+335
親会社株主に帰属する 当期純利益	0	55	+54	-
1株当たり当期純利益(円)	0.17	15.91		
為替(円/\$)	121	108		
国産ナフサ価格 (円/kℓ)	48,800	31,600		

### 定性情報(前年同期比)

(売上高) 731億円(1%減)

増収要因: 半導体及び太陽電池用多結晶シリコンなどの販売数量増

減収要因: 国産ナフサ価格下落に伴う石化製品の販売価格軟化

(営業利益) 95億円(224%増)

増益要因: トクヤママレーシアの稼働率改善、減価償却費の減少

原燃料価格下落に伴う製造コストの減少

# 1. 決算概要

連 結 (前年同期比)

(億円)

	2016年 3月期 第1四半期	2017年 3月期 第1四半期	増 減	
			金額	%
売上高	737	731	△5	△1
営業利益	29	95	+65	+224
経常利益	14	64	+49	+335
親会社株主に帰属する 当期純利益	0	55	+54	-
1株当たり当期純利益(円)	0.17	15.91		
為替(円/\$)	121	108		
国産ナフサ価格 (円/kg)	48,800	31,600		

## 定性情報(前年同期比)

(経常利益) 64億円(335%増)

増益要因: 営業利益の増加

減益要因: トクヤママレーシアでの試作費用の増加

(親会社株主に帰属する当期純利益) 55億円

増益要因: 経常利益の増加

トクヤママレーシアのプラントに係る補助金収入の計上

# 1. 決算概要

## 連 結（前 期 末 比）

（億円）

	2016年 3月末	2016年 6月末	増 減
総資産	4,013	4,049	+36
自己資本	514	743	+228
自己資本比率	12.8%	18.4%	+5.5ポイント
有利子負債	2,441	2,381	△59
D/Eレシオ	4.74	3.20	△1.54
ネットD/Eレシオ*	2.38	1.43	△0.96
1株当たり純資産(円)	147.98	156.22	

### 定性情報(前期末比)

\*ネットD/Eレシオ: (有利子負債－現預金・現金同等物・金銭信託) / 自己資本

(総資産)

増加項目: 現金及び預金の増加

減少項目: 受取手形・売掛金等の減少

(自己資本)

増加項目: 種類株式の発行による株主資本の増加

(有利子負債)

減少項目: 長期借入金等の減少

## 2. セグメント別売上高／営業利益

(前年同期比)

(億円)

	2016年3月期 第1四半期		2017年3月期 第1四半期		増減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	228	14	202	29	△26	△12	+14	+95
特殊品	130	△15	161	21	+30	+23	+36	—
セメント	204	9	194	16	△10	△5	+7	+77
ライフアメニティー	142	17	138	18	△4	△3	+1	+6
その他	129	10	131	15	+2	+2	+5	+53
計	836	36	827	100	△8	△1	+64	+175
セグメント間消去・ 全社費用	△98	△7	△96	△5	+2	—	+1	—
連結決算	737	29	731	95	△5	△1	+65	+224

(注)各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

(参考)

トクヤママレーシア	18	△31	40	△0	+21	+118	+31	—
-----------	----	-----	----	----	-----	------	-----	---

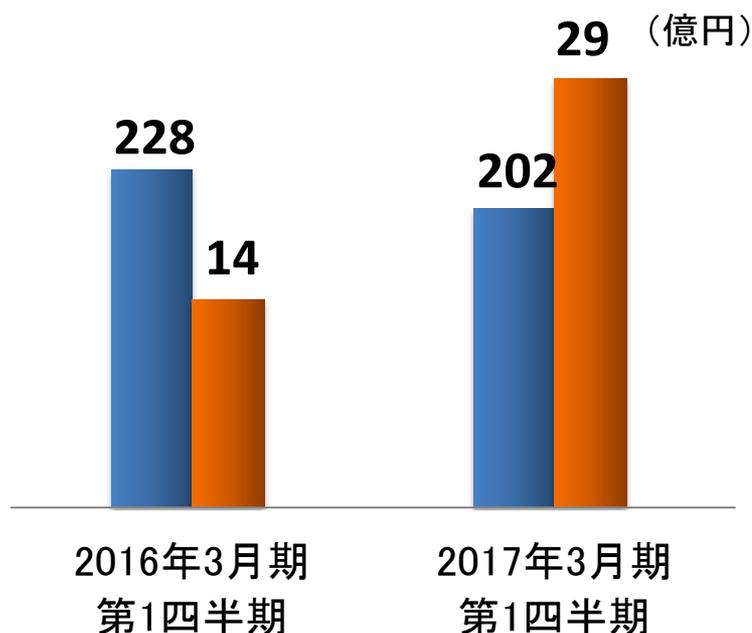
## 2. セグメント別売上高／営業利益

(前年同期比)

### 化成品

### 減収増益

■ 売上高 ■ 営業利益



### 定性情報

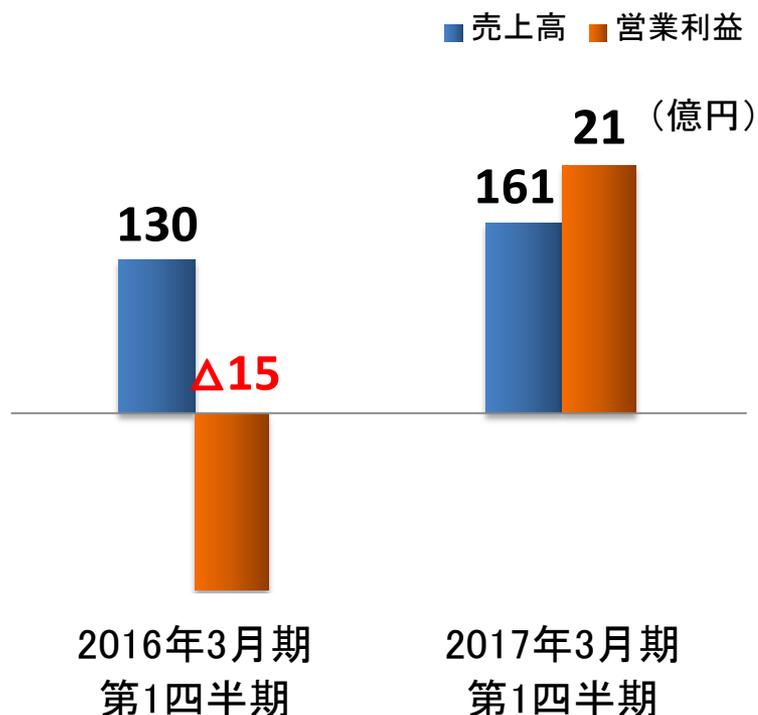
- (苛性ソーダ)
  - ・国内出荷は堅調も、販売価格軟化により減収
- (塩ビモノマー)
  - ・アジア向け出荷は堅調も、国産ナフサ価格の下落に伴う販売価格の軟化で減収
- (塩ビ樹脂)
  - ・千葉工場停止による損益改善
- (ソーダ灰・塩化カルシウム)
  - ・価格是正を行うも、販売数量減で減収

## 2. セグメント別売上高／営業利益

(前年同期比)

### 特殊品

### 増収増益



### 定性情報

(半導体用多結晶シリコン)

- ・スマートフォンなどモバイル機器の高機能化を背景に販売数量増

(太陽電池用多結晶シリコン)

- ・トクヤママレーシアの稼働率改善により、販売数量増

(電子工業用高純度薬品)

- ・半導体用途で出荷堅調も、円高進行で減収

(窒化アルミニウム)

- ・半導体製造装置向けを中心に販売数量増

## 2. セグメント別売上高／営業利益

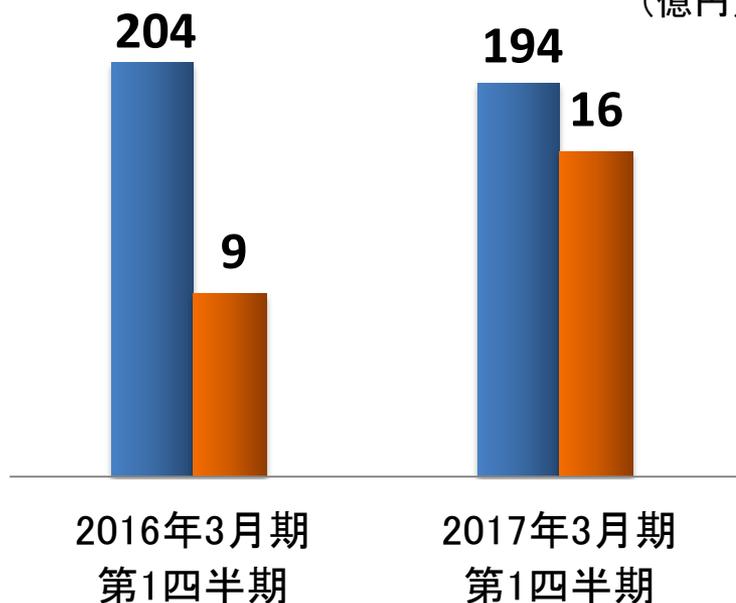
(前年同期比)

### セメント

### 減収増益

■ 売上高 ■ 営業利益

(億円)



### 定性情報

#### (セメント)

- ・セメントは官公需・民需とも低調で国内出荷は減少も、需要旺盛なアジア地区への輸出増で売上高は横ばい
- ・連結子会社は、前年同期の大型案件向け出荷の反動で減収

#### (資源環境事業)

- ・石炭灰等の廃棄物受入数量増

## 2. セグメント別売上高／営業利益

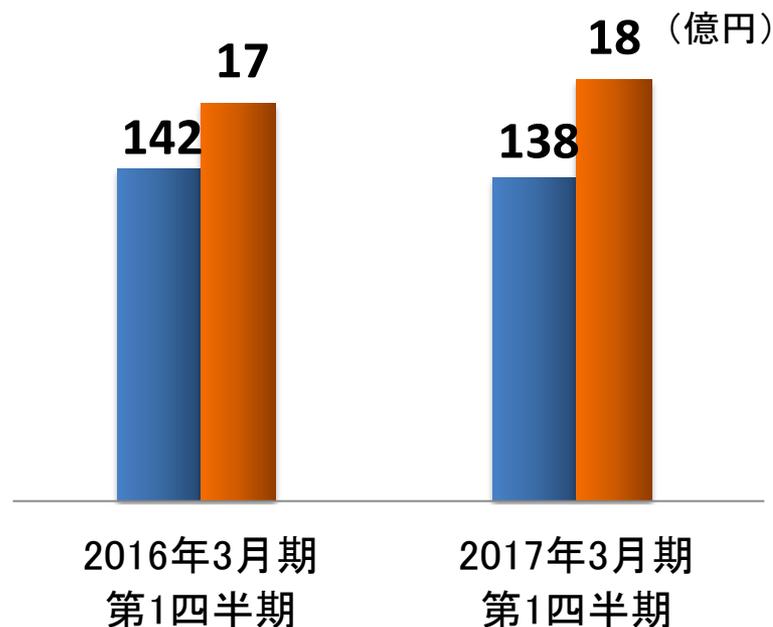
(前年同期比)

### ライフアメニティー

減収増益

定性情報

■ 売上高 ■ 営業利益



(医薬品原薬)

・ジェネリック医薬品向けの販売数量増

(微多孔質フィルム)

・紙おむつ向けの販売数量減

(ポリオレフィンフィルム)

・コンビニ向けを中心に出荷堅調  
・原料価格下落に伴う販売価格の軟化

(歯科器材)

・新製品、海外向けの販売数量増

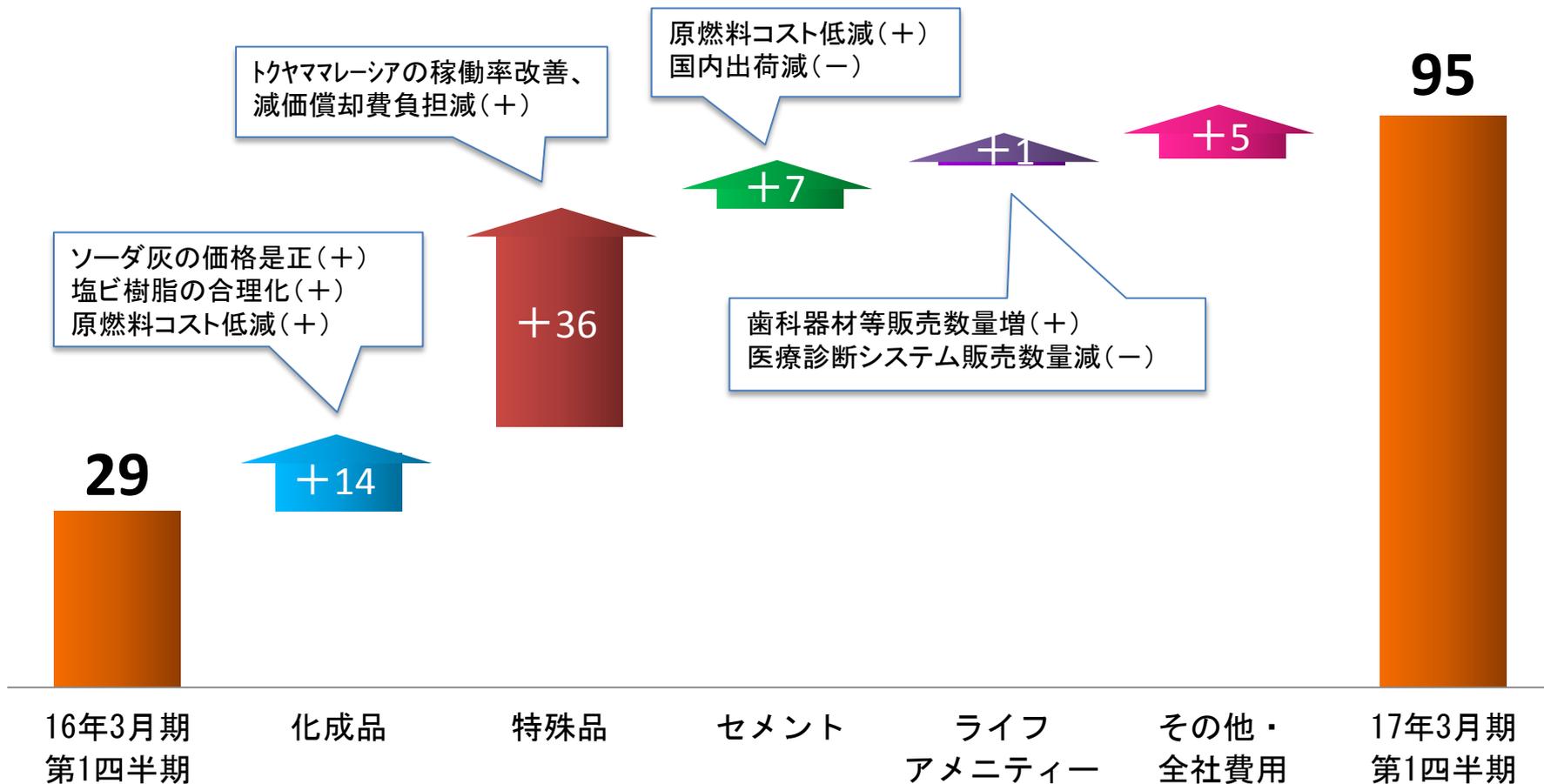
(医療診断システム)

・前年同期の大型案件の反動で販売数量減

# 3. 営業利益増減分析

(前年同期比) (億円)

## セグメント別



## **2** 2017年3月期 業績予想

1. 業績予想
2. セグメント別業績予想



# 1. 業績予想

## 連結（予想の前期比）

(億円)

	2016年3月期 実績	2017年 3月期 予想 (5/12公表)
売上高	3,071	3,020
営業利益	230	320
経常利益	177	270
親会社株主に帰属する 当期純利益	△1,005	170
1株当たり当期純利益(円)	△289.10	46.68
為替(円/\$)	120	110
国産ナフサ価格 (円/kℓ)	42,800	35,000

増 減	
金額	%
△51	△2
+89	+39
+92	+52
+1,175	-

今後の事業環境については、太陽電池用多結晶シリコンなどの市況や為替、原燃料価格の変動など、不透明な部分はあるものの、現時点で業績は想定の範囲内で推移している。そのため、2016年5月12日に公表した業績予想を据え置く。

## 2. セグメント別業績予想

(予想の前期比)

(億円)

	2016年3月期実績		2017年3月期予想 (5/12公表)		増減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	878	89	810	100	△68	△8	+10	+12
特殊品	609	△11	670	70	+60	+10	+81	—
セメント	854	58	870	80	+15	+2	+21	+37
ライフアメニティー	576	65	520	50	△56	△10	△15	△24
その他	536	56	530	45	△6	△1	△11	△21
計	3,455	258	3,400	345	△55	△2	+86	+34
セグメント間 消去・全社費用	△384	△27	△380	△25	+4	—	+2	—
連結決算	3,071	230	3,020	320	△51	△2	+89	+39

(注)各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

(参考)

トクヤママレーシア	88	△102	110	△40	+21	+24	+62	—
-----------	----	------	-----	-----	-----	-----	-----	---

### ③ トピックス

1. トクヤママレーシア
2. 廃石膏ボードリサイクル工場  
増設



### 3 トピックス

# 1. トクヤママレーシア

## 今後のスケジュール

		2015年度(16/3)	2016年度(17/3)	2018年度(19/3)~
 <p>トクヤママレーシア</p>	PS1	PS2のバックアップとして活用		
	PS2	(3Qで減損処理)	コストダウンを実施	通期黒字化達成

## 収益計画

	(実績)	(予想) 5/12公表	(計画)	(億円)
売上高	88	110	180	
営業利益	△102	△40	20	
太陽電池用多結晶シリコン市況	US\$14.6/kg	US\$13.5/kg	US\$15.0/kg	
販売数量	5,000トン	8,000トン	11,000トン	
為替(円/US\$)	120	110	110	
為替(円/MYR)	30	28	28	

今期実績は市況、稼働とも上ぶれ基調で推移しているものの、今後の見通しについては不透明な部分が多いため、5/12公表の予想を据え置く

## 2. 廃石膏ボードリサイクル工場増設

- 2013年に稼働した三重本社工場続く廃石膏ボードリサイクル事業の関東地区の拠点として、千葉県袖ヶ浦市に関東工場を建設
- 首都圏を中心とする東日本一円より廃石膏ボードを収集し、連続大型再結晶化技術により、二水石膏の製造・販売事業を行う

会社名：株式会社トクヤマ・チヨダジプサム 関東工場  
(千葉県袖ヶ浦市南袖10(株式会社トクヤマ袖ヶ浦SS内))

処理能力： 年産8万ト(廃石膏ボード処理量)

総事業費： 約20億円

営業運転開始： 2016年7月

従業員数： 15名程度

事業内容： 廃石膏ボードの収集、二水石膏の製造・販売、  
廃石膏ボードリサイクル事業の運営、



Chemistry with a heart

**TOKUYAMA**



## **4** 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)
2. 業績推移
3. 業績予想(上期・下期)
4. 多結晶シリコン市場動向
5. 太陽電池市場動向

4 補足資料

# 1. 連結財務諸表(要約)

## 損益計算書

(億円)

	2016年 3月期 第1四半期	2017年 3月期 第1四半期	増減	
			金額	%
売上高	737	731	△5	△1
売上原価	553	485	△68	△12
販管費	154	151	△3	△2
営業利益	29	95	+65	+224
営業外損益	△14	△30	△16	-
経常利益	14	64	+49	+335
特別損益	+0	24	+24	-
税前当期純利益	14	89	+74	+498
法人税等	14	33	+19	+135
親会社株主に帰属する 当期純利益	0	55	+54	-

4 補足資料

# 1. 連結財務諸表(要約)

## 貸借対照表

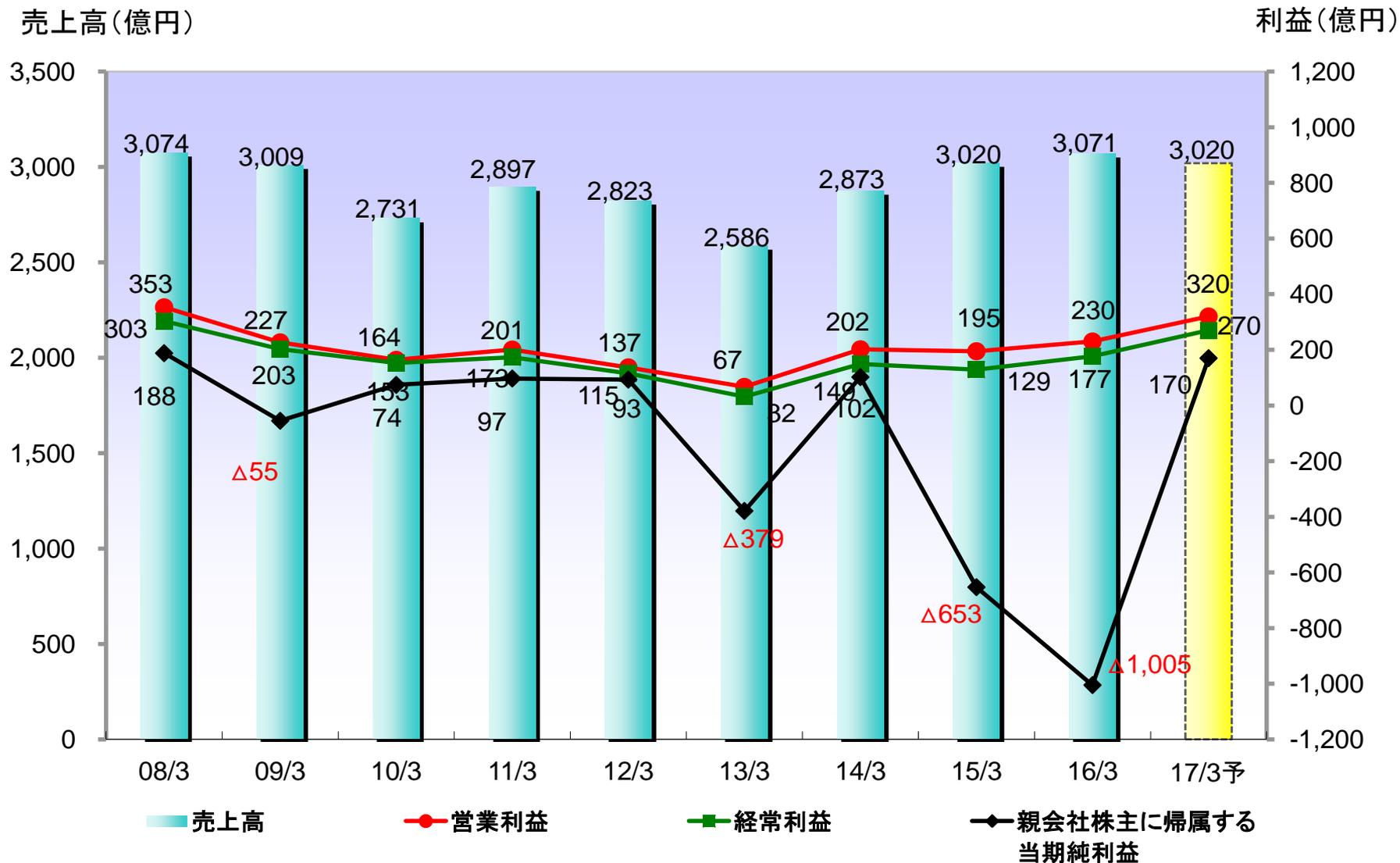
(億円)

	2016年 3月末	2016年 6月末	増減	
			金額	%
資産合計	4,013	4,049	+36	+1
流動資産	2,437	2,491	+53	+2
有形固定資産	1,197	1,178	△19	△2
無形固定資産	63	58	△5	△9
投資その他の資産	314	322	+8	+3

	2016年 3月末	2016年 6月末	増減	
			金額	%
負債合計	3,411	3,217	△193	△6
流動負債	1,132	988	△143	△13
固定負債	2,279	2,229	△49	△2
純資産合計	602	831	+229	+38

# 2. 業績推移

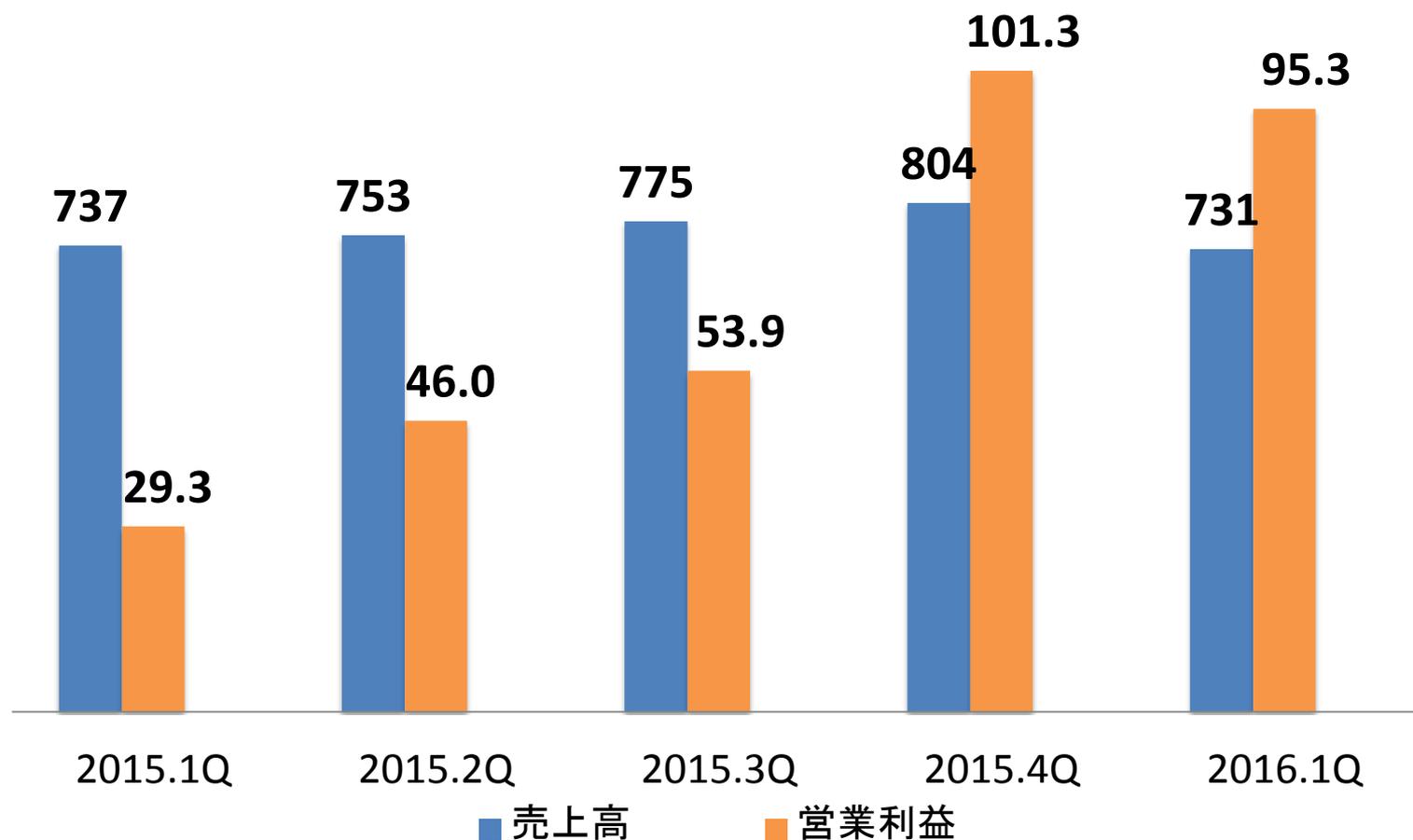
連 結 ( 通 期 )



## 2. 業績推移 ( 四 半 期 )

連結

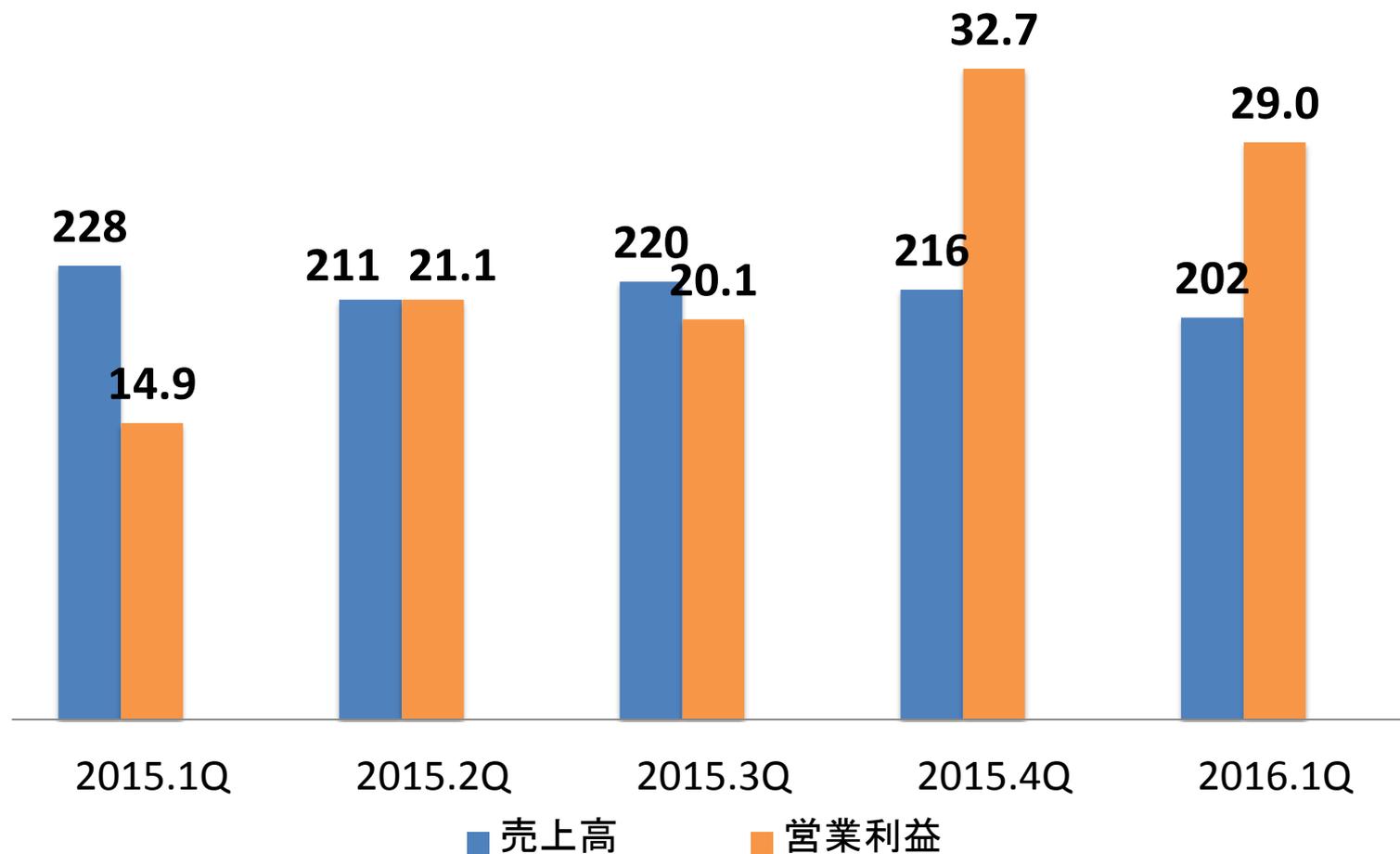
(億円)



## 2. 業績推移 ( 四 半 期 )

### 化成品

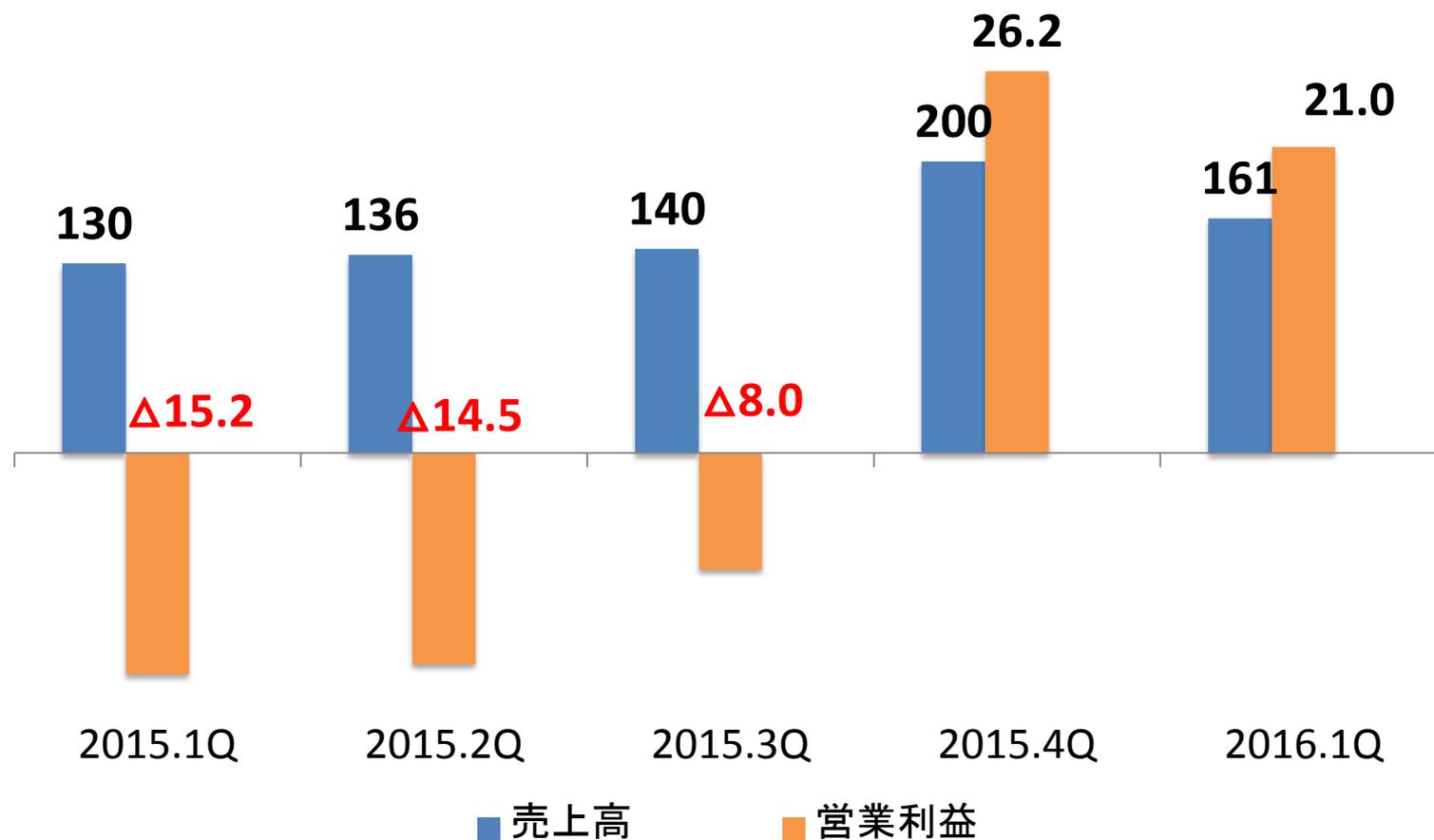
(億円)



## 2. 業績推移 ( 四 半 期 )

### 特殊品

( 億 円 )

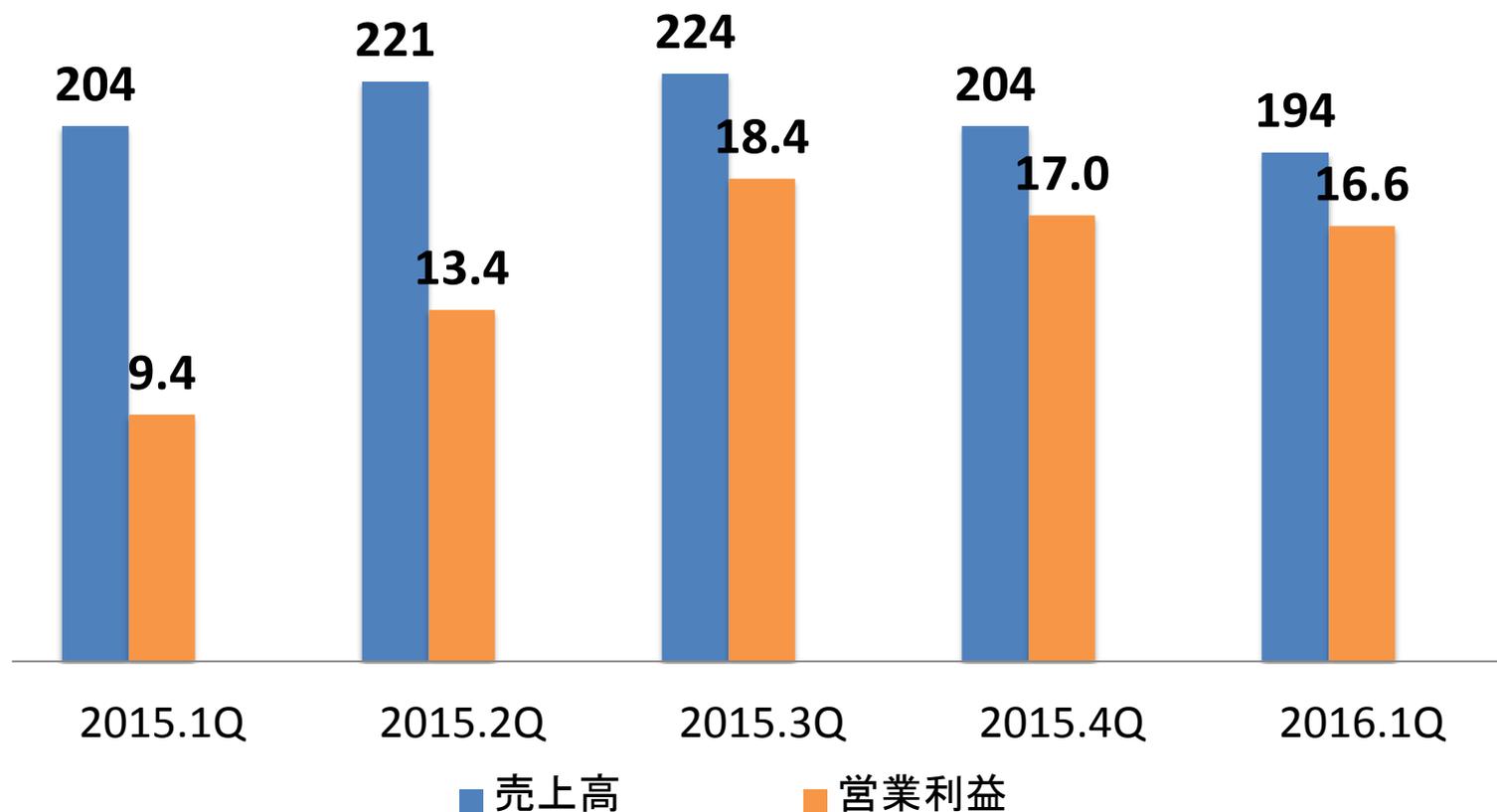


## 2. 業績推移

( 四 半 期 )

セメント

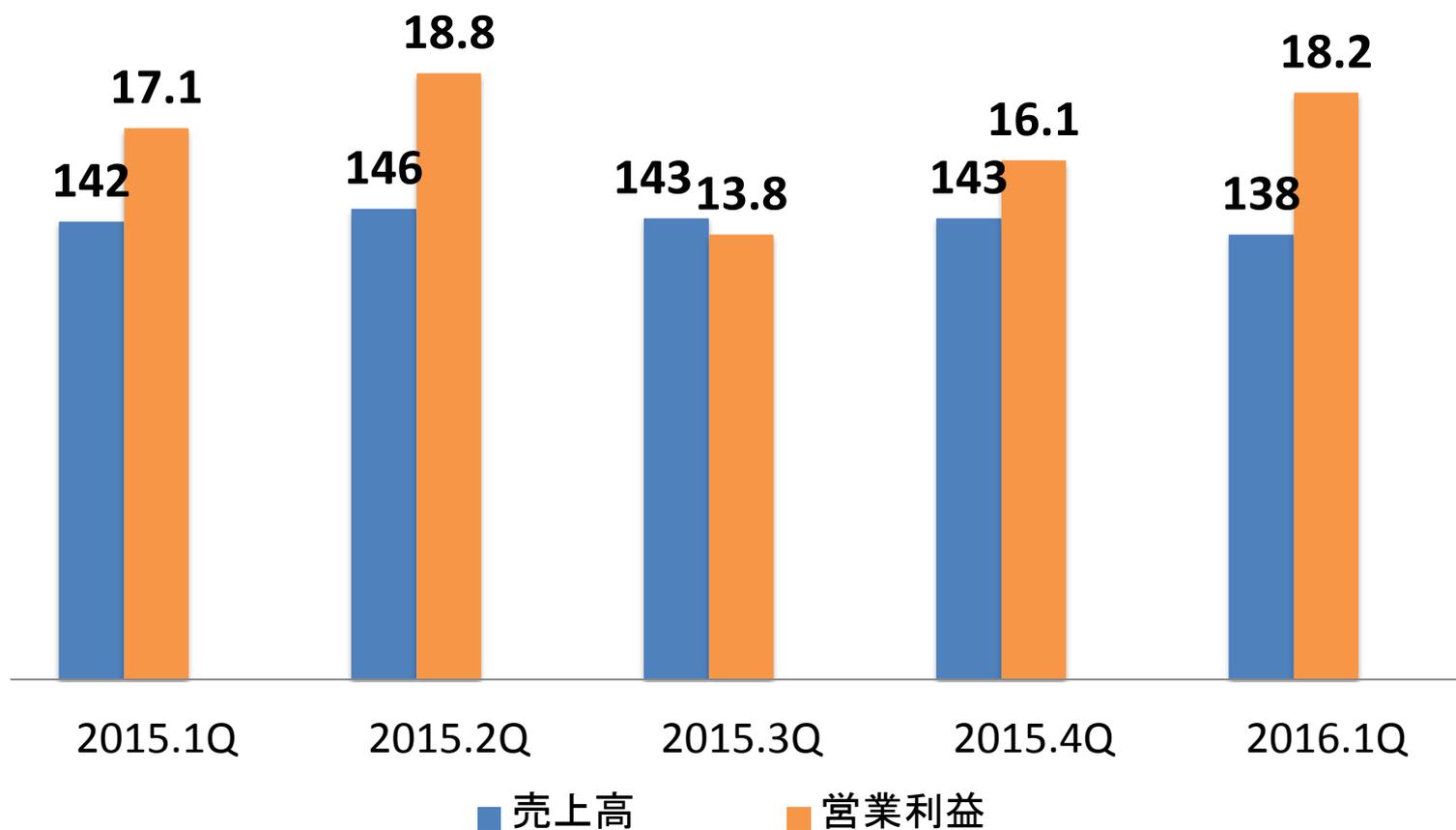
(億円)



## 2. 業績推移 ( 四 半 期 )

### ライフアメニティー

(億円)



### 3. 業績予想(上期・下期)

連 結 ( 前 期 比 )

(億円)

	2016年3月期			2017年3月期 予想(5/12公表)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	1,491	1,579	3,071	1,450	1,570	3,020
営業利益	75	155	230	145	175	320
経常利益	52	124	177	115	155	270
親会社株主に帰属する 当期純損失	27	△1,033	△1,005	70	100	170
1株当たり純利益(円)	8.00	△297.10	△289.10	19.37	27.31	46.68
為替(円/\$)	122	118	120	110	110	110
国産ナフサ価格 (円/kℓ)	48,000	37,600	42,800	35,000	35,000	35,000

### 3. 業績予想(上期・下期)

(億円)

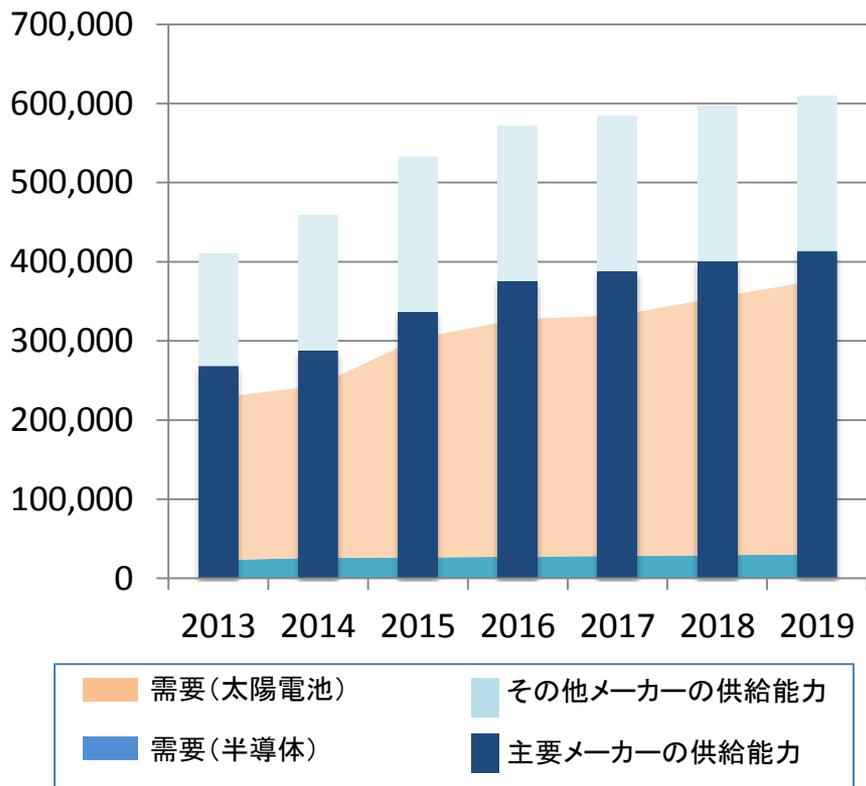
	2016年3月期						2017年3月期 予想(5/12公表)					
	上期		下期		通期		上期		下期		通期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
化成品	440	36	437	52	878	89	380	50	430	50	810	100
特殊品	267	△29	341	18	609	△11	310	20	360	50	670	70
セメント	425	22	429	35	854	58	420	35	450	45	870	80
ライフアメニティー	289	36	287	29	576	65	270	25	250	25	520	50
その他	267	25	268	31	536	56	270	25	260	20	530	45
計	1,691	90	1,764	167	3,455	258	1,650	155	1,750	190	3,400	345
セグメント間 消去・ 全社費用	△199	△15	△184	△12	△384	△27	△200	△10	△180	△15	△380	△25
連結決算	1,491	75	1,579	155	3,071	230	1,450	145	1,570	175	3,020	320

(注)各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

# 4. 多結晶シリコン市場動向

## 多結晶シリコンの需給予測

供給能力／需要(トン)



(注)当社推定

### 今後の見通し

#### <半導体向け需要>

◆モバイル機器の高機能化等で増加が見込まれる

#### <太陽電池向け需要>

◆パリ協定でのCO2削減に関する新たな枠組みが追い風となる

◆欧州を始めとする一部の国・地域で減速傾向が見られるものの、中国、米国、インドを始めとする多くの国・地域で積極的な導入政策等による成長が見込まれ、年率10%程度の需要拡大が見込まれる

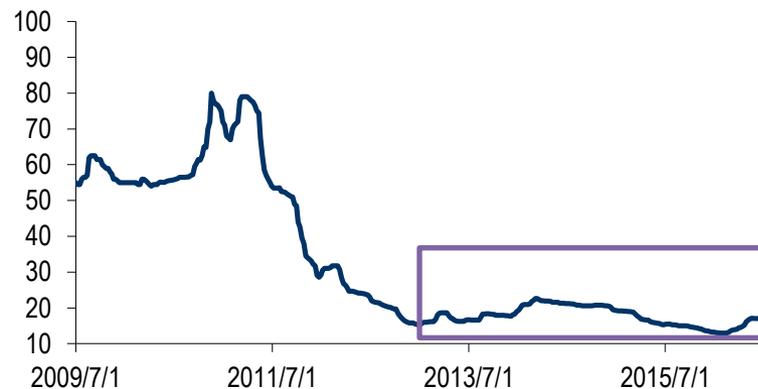
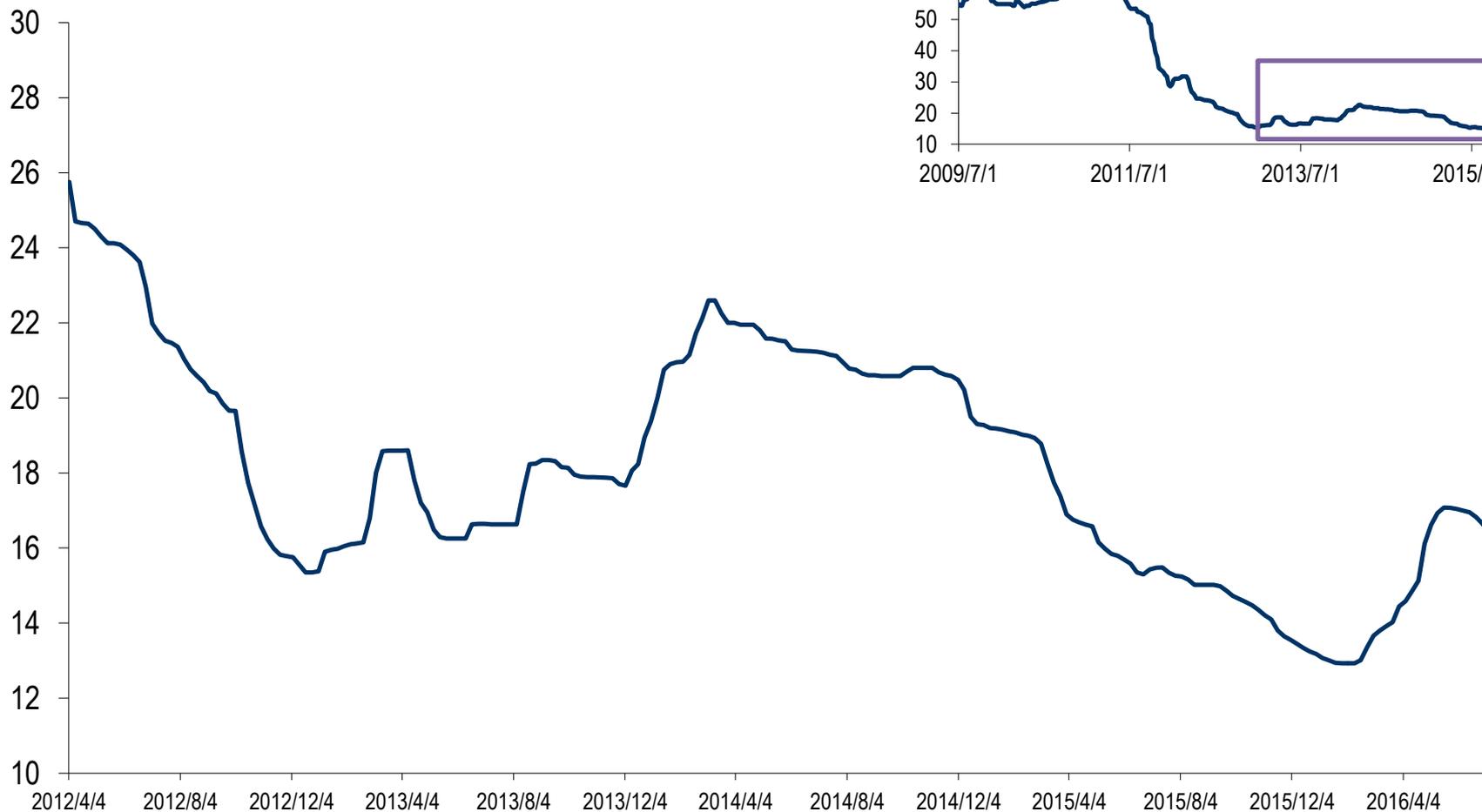
#### <供給サイド>

◆当面供給能力過剰の状況が続く。コスト競争力が生き残りのカギとなる

# 4. 多結晶シリコン市場動向

太陽電池用多結晶シリコンのスポット価格推移

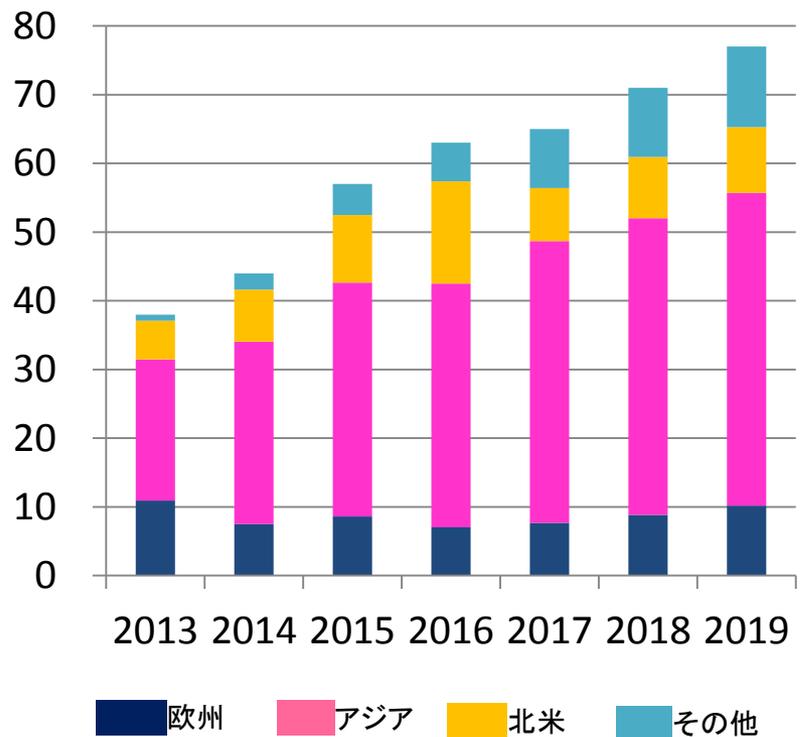
(US\$/KG)



# 5. 太陽電池市場動向

地域別太陽電池導入量予測

単位:GW



(注) 当社推定

## 各国の状況

### <中国>

- ◆15年末時点での、中国の太陽電池出力累計は43.18GWに到達、ドイツを抜いて世界最大に
- ◆16年の太陽電池導入割当量は18.1GW（対前年成長率20%となる値）
- ◆「第13次5ヶ年計画」の中で、再生可能エネルギーがエネルギー分野における8大重要項目の1つに。長期的に太陽電池の更なる需要拡大が期待される

### <米国>

- ◆米国議会において、投資税額控除(ITC)の延長を可決。2020年までの太陽光発電システムの導入量増加が期待される

### <日本>

- ◆2012年7月の現行固定価格買取制度の導入以降、太陽光発電の導入量が急増
- ◆2015年1-12月の導入量は9.8GW（14年は8.6GW）
- ◆今後は更なる市場拡大は見込めないものの、安定した導入が期待される

### <インド>

- ◆モディ政権は2022年までに100GWの導入目標を表明
- ◆新たなクリーン・エネルギー目標(2030年の再エネ比率40%:太陽電池250GW相当)を承認する方針

### <欧州>

- ◆政策による支援縮小等の影響はあるものの、中長期的には緩やかに成長すると期待される

# 本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。

また、当社の許諾なしに掲載情報を使用（複製、改変、頒布、販売、転載、出版等を含む）することはできません。

Chemistry with a heart

**TOKUYAMA**

